

都市再生整備計画(第4回変更)

おけがわし ひでやちく
桶川市日出谷地区

さいたま おけがわし
埼玉県 桶川市

平成21年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	桶川市	地区名	日出谷地区	面積	566.5 ha
計画期間	平成 17 年度	～	平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度	～	平成 21 年度

目標

大目標：脆弱な都市基盤を早期に解消し、住民も一体となって活動する安全・安心なまちづくり

- 目標1 道路等の整備により、西小学校及び日出谷小学校への通学路の安全確保と防災活動困難地域の早期解消を図るまちづくりを行う
- 目標2 住民参加をいろいろな分野で図ることにより、地域に愛着をもつていただけるようなまちづくりを行う
- 目標3 交流拠点として新住民と旧来の住民、また、子供とお年寄りの架橋になるような魅力的なまちづくりを行う

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は都心より40km以内という通勤圏にあるため、特にバブル期までに民間投資による開発が進み、人口の増加とスプロール化が顕著であった。
- 当地域内では計画的な都市基盤整備が必要であったため、昭和61年度に下日出谷西地区、昭和62年度に上日出谷南地区、また、平成4年度に下日出谷東地区に区画整理組合が設立された。
- 下日出谷西地区内にできた市民体育館(愛称「サンアリーナ」)は「彩の国まごころ国体」で成年女子バスケットボールの会場となるなど、市民規模の大会だけでなく、多くの方に活用され、地域のシンボルとなっている。
- 上日出谷南地区では地区中央にスーパー・コンビニが出店し、また、事業に伴い完成した箇所を路線バスが運行するなど利便性が高まっているが、まだ未整備箇所が多く点在する。
- 下日出谷東地区内にある「下日出谷会館」は滝の宮線予定地上に現存し、区画整理事業で移転することが決まっているが、建物も老朽化しているため、早期に新しい会館を建築したいとの要望が地域より出されている。
- 当地域内で整備が終了した箇所のうち、宅地利用地は分譲住宅やアパートができて新住民が流入し、畠利用地では旧来の住民が市民農園として貸し出して好評を得るなど、新住民と旧来の住民との交流も行われつつある。
- 城山公園は桜のシーズンやスポーツイベントの際は市外からも大勢の方が訪れるが、上尾道路の事業進捗により、一部改修が必要となっている。

課題

- 下日出谷西地区は早期の区画整理事業完了が求められていたが、平成19年2月に換地処分を迎える予定となっている。(※平成19年2月換地処分、平成20年12月事業完了・組合解散)
- 区画整理事業で生み出される保留地のうち、下日出谷西地区と下日出谷東地区にまたがっているものがあり、下日出谷西地区の事業完了のためには下日出谷東地区と一体の整備が絶対条件である。
- 上日出谷南地区では事業の進捗が7割程度であり、道路整備や建物移転が虫食いの状態で、地区内でも整備状況に大きな差が生じており、その中でも日出谷小学校東側周辺は早期の整備が望まれている。
- 現在の市役所分庁舎のある場所は、組合事業計画上でコミュニティセンター予定地となっているが、計画策定から年数も経っており、周辺整備とあわせ、今後の活用方法についていろいろな意見がある。
- 下日出谷東地区では事業の進捗が1割程度であるが、事業エリアの縮小で方向性が定まっており(※平成19年5月に区域を縮小)、県・市と一体となって地区内のほぼ中央を東西に通る滝の宮線の早期開通を目指している。
- 下日出谷会館の建設予定地周辺は道路整備が不完全な状態であり、建物完成後も交流拠点として今以上に多くの住民の利用が見込まれるため、早期の一體的な整備が必要である。(※平成18年2月下日出谷会館新築完成)
- 防災訓練によって高められた市民の意識をさらに具体化するため、遅れている整備を図る必要がある。
- 区画整理施工中のため、通学路にもかかわらず必要な交通標識の設置などができるず、事故が多発する地点が点在し、なつかつ緊急車両が進入できないとされる道路が多数存在する。

将来ビジョン(中長期)

桶川市第四次総合振興計画では、「歩いて暮らせる都市づくり」として高齢者や子どもなどが安心して快適に暮らしていくために、歩行空間における交通安全対策を推進し、その主要施策として関係機関の協力のもと、家庭、学校、職場、地域等の様々な場で交通安全意識の啓発が行われるよう、市民ぐるみの交通安全運動と児童から高齢者にいたるまでそれぞれの年代に応じた交通安全教育の推進を図るとしている

また、桶川市都市計画マスタープランでは当地区(日出谷地区)は桶川西地域の大半を占めている。その中で現状を団地開発やミニ開発による宅地化が先行したため、一般的に団地内道路と周辺道路との連絡が良好でないことを挙げ、生活環境整備の方向性として基盤整備が不十分な団地周辺を区画整理事業によって整備・改善し連絡を良くするとともに、生活道路や公共下水道等を計画的に整えるとされ、さらに災害の備えを考慮した災害に強い都市基盤づくりを進めること、及び、新しくつくれたまちで地域コミュニティの形成のための交流が促進されるよう地域生活の核づくりや地域活動のよりどころとなる身近な場を整備すると位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口	人	地区内に居住する住民の数	目標値に到達するために、さまざまな手法で魅力的なまちづくり活動をアピール。結果として市全体の人口が減少傾向の中、地区内人口の維持へつなげる。	20175	H16	20175	H21
防災活動困難地域の解消	世帯数	緊急車両進入困難道路に現状で隣接する世帯数	目標値に到達するために、進入可能幅員をもつ街路整備と建物移転を促進する。結果として、防災活動困難地域の解消につなげる。	15	H16	0	H21
交通事故による救急車の出動	件数	1年間の救急車出動件数のうち、交通事故による件数	目標値に到達するために、危険箇所解消を歩車道・交通安全施設の整備を行う。結果として、救急車出動件数の減少へつなげる。	30	H16	20	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>※ 整備方針1（通学路の安全確保と防災活動困難地域の早期解消を図るまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋設管（上水道、下水道、雨水管等）が未整備のため、街路整備が完了していない箇所については、「通学路の安全確保」の観点から特に歩道がある街路を重点的に整備を行う。 区画整理事業の進捗の遅れのため、緊急車両の進入が困難な地域については、「防災活動困難地域の早期解消」という観点から特に必要とされる幅員が確保されていない街路を重点的に整備し、関連して交通安全施設の整備も行う。 	土地区画整理事業＜上日出谷南＞ 土地区画整理事業＜下日出谷東＞ 道路事業＜3・4・18 日出谷中央通り線＞ 道路事業＜市道58号線＞ 地域創造支援事業＜組合区画整理推進助成事業＞
<p>※ 整備方針2（地域に愛着をもつていただけるようなまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業地内では、街区公園の整備が進んでおり、近隣の方たちの憩いの場となっているが、早い時期に整備された公園ではニーズに合わなくなったものもあり、地域の声を十分に生かしながら、リニューアルを行う。 指定避難所となっている小学校を中心に、防災訓練を通して、地域の意識が高まっているが、一部においては設備が整っていない箇所もあるため、中心となる市役所を含め、早急に整備を行う。 	土地区画整理事業＜上日出谷南＞ 土地区画整理事業＜下日出谷東＞ 地域創造支援事業＜街区公園トイレ整備事業＞ 地域創造支援事業＜市役所本庁舎解体事業＞ 地域創造支援事業＜防災倉庫整備事業＞ 消防団施設整備事業（関連事業）
<p>※ 整備方針3（交流拠点を生かしたまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新「下日出谷会館」周辺の整備が遅れているため、街路等の整備が完了していない箇所については、「交流拠点を生かしたまちづくり」の観点から特に多くの通行が見込まれる街路を重点的に整備し、関連して今後明らかになるであろう建物のコンセプトにあうように整備をする。 	土地区画整理事業＜下日出谷東＞ 土地区画整理事業＜下日出谷西＞ 下日出谷会館新築事業（関連事業） 地域創造支援事業＜「住みよい街づくり進行中」事業＞

その他

○ 区画整理事業における連携

下日出谷東地区は東西に滝の宮線、南北に西侧大通り線が計画され、交通の結節点であり、西には下日出谷西地区、北には上日出谷南地区があるため、早期に計画的に整備をすることによって2つの地区的魅力もより引き立つものである。さらに下日出谷西地区と下日出谷東地区にまたがって区画整理事業で生み出された保留地があつたり、区画街路が連携して計画されるなど密接な関係があり、下日出谷会館を活用する自治会もほぼ両地区内がエリアとなっている。

なお、下日出谷西地区は平成18年度の事業完了に向け鋭意努力をしており（※平成20年度に事業完了）、上日出谷南地区においても進捗度がおおむね7割に達しているが、事業完了に向けさらにスピードアップを図る狙いがある。

○ 国・県における事業

川田谷地区においては、圏央道関連事業として、上尾道路および県道滝の宮線の用地買収、さらには一部区間においては整備が開始されており、今後、飛躍的に交通網が変化することが予想される。

交付対象事業等一覧表

日出谷地区 第4回变更

交付対象事業費	1,071.0	交付限度額	428	国費率	0.4
---------	---------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
道路		3・4・18 日出谷中央通り線	桶川市	直	225.8m	17	17	17	17	29.4	29.4	29.4	29.4
		市道58号線	桶川市	直	343m	19	19	19	19	11.5	11.5	11.5	11.5
公園													
河川													
下水道													
駐車場有効利用システム	—				—								
地域生活基盤施設	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
高質空間形成施設	—				—								
高次都市施設	—				—								
既存建物活用事業	—				—								
都市再生交通拠点整備事業													
土地区画整理事業	上日出谷南特定土地区画整理事業	上日出谷南特定土地区画整理組合		間	64.6ha	62	23	17	21	477.1	477.1	477.1	477.1
	下日出谷東特定土地区画整理事業	下日出谷東特定土地区画整理組合		間	36.8ha	4	33	17	21	440.0	440.0	440.0	440.0
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
人にやさしいまちづくり事業													
パリアフリー環境整備促進事業													
優良建築物等整備事業													
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計										958.0	958.0	958.0	958.0
										0	958.0		

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費			交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	「住みよい街」づくり進行中事業	大字上日出谷・下日出谷地内	桶川市土地区画整理組合連合会	間	134.8ha	17	21	17	21	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	組合区画整理推進助成事業	大字上日出谷・下日出谷地内	上日出谷南、下日出谷東地区画整理組合	間	101.4ha	19	21	19	21	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0
	街区公園トイレ整備事業	大字上日出谷・下日出谷地内	桶川市	直	—	19	20	19	20	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	防災倉庫整備事業	泉1丁目・大字川田谷地内	桶川市	直	—	19	20	19	20	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
事業活用調査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
まちづくり活動推進事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
合計										113.0	113.0	113.0	0	113.0

合計(A+B) 1,071.0

(参考)関連事業

都市再生整備計画の区域

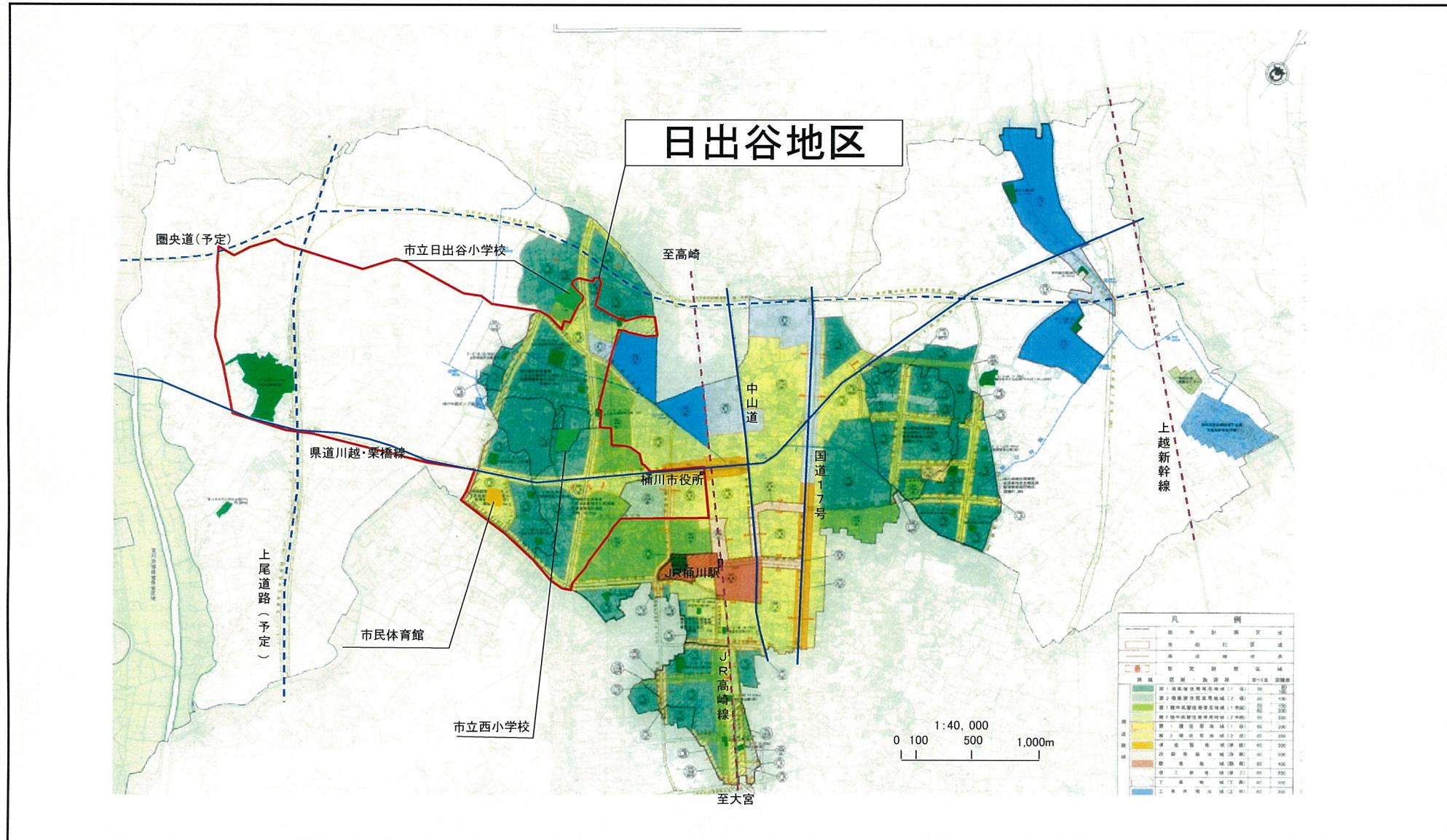
日出谷地区(埼玉県桶川市)

面積

566.5 ha

区域

桶川市大字上日出谷、大字下日出谷、泉1丁目、泉2丁目の一部、鴨川1丁目の一部、大字川田谷の一部



日出谷地区(埼玉県桶川市) 整備方針概要図

目標	脆弱な都市基盤を早期に解消し、住民も一体となって活動する安全・安心なまちづくり	代表的な指標	地区内人口 (人)	20,175 (H16年度) → 20,175 (H21年度)
			防災活動困難地域の解消 (世帯数)	15 (H16年度) → 0 (H21年度)
			交通事故による救急車の出動 (件数)	30 (H16年度) → 20 (H21年度)

